

□□□



## < Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは >

医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を  
発展・維持するための教育コースです。またプライマリケア医だけでなく産婦人科の  
研修医を対象とした訓練でもあります。1991年に ACLS と ATLS に基づき、ウイス  
コンシン州の医師二人が ALSO を考案しました。1993年にコース権利は American  
Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会) によって認可され、現在全米  
ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーが ALSO の受講を  
義務づけられています。また米国の家庭医レジデンシープログラムの内、78%が  
ALSO をプログラムに導入しています。さらに ALSO コースは世界的に普及活動が行  
われており、2009年現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10  
万人以上が ALSO コースを完了しました。

## < コース内容 >

レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップです。  
筆記試験とマネキンによる実技試験（メガデリバリー）がコースに含まれています。  
ALSO は LDR における産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリス  
ク評価、妊娠初期の性器出血、患者-医師関係、出産危機における両親のサポート、  
そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれています。

プロバイダーコース：2日間

レクチャー：妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、  
分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、マタニティケアにおける安全性  
ワークショップ：肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中胎児監視、重要症  
例オプショナル・ワークショップ：会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機にお  
ける両親への対処、新生児蘇生

**□プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、5年間有効の認証を受け  
ます。**

ALSO-JAPAN HP : <http://www.oppic.net/>

日本では 2008 年 11 月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約  
100 名が ALSO コースを修了しています。参加者は産婦人科医、プライマリケア医、  
研修医、救急医、助産師、そして医学部生などであり、現在・近未来の日本の周産  
期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のある全ての医療人が参加して  
います。産科救急医療は、産婦人科医だけでは既に成り立たない状況になりつつある  
ことは周知の事実です。日本全国全ての地域でできる限り同じレベルの産科医療を維

持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人達をトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。まさにその足がかりとなるトレーニングコースが **ALSO** であると考えております。

今回は、NPO 法人周生期医療支援機構の御協力で、聖マリアンナ医科大学にて **ALSO** プロバイダーコースを開催することになりました。産科救急の現場においては、産科医のみならず、小児科医、救急医、助産師、救急看護師、NICU 看護師を含めたチーム医療による対応が不可欠であり、エビデンスに基づいた系統的な学習と症例や実技を通して学び、産科救急の現場で産婦人科医と救急医・総合医が協力し、産科診療や分娩に関わることができる協力体制作りの一環として、**ALSO** プロバイダーコースを開催いたします。皆様の多数の御参加お待ちしております。

### *ALSO-Japan*

コースディレクター：土肥聡（金沢大学周生期医療専門医養成学講座）

コースコーディネーター：小山泰明（聖マリアンナ医科大学救急医学）

セミナー：ALSOプロバイダーコース

主催：NPO法人周生期医療支援機構（OPPIC）

開催場所：聖マリアンナ医科大学 教育棟 5階

<http://www.marianna-u.ac.jp/hospital/hospital.html>

交通：小田急線向ヶ丘遊園駅からバス15～20分

東急田園都市線溝の口駅からバス15～20分

JR 南武線武蔵溝ノ口駅からバス15～20分

[http://www.marianna-u.ac.jp/houjin/access/access\\_05.html](http://www.marianna-u.ac.jp/houjin/access/access_05.html)

日時：平成23年2月26日（土）、27日（日） 8時30分～18時予定

受講費：30000円（弁当及び宿泊必要者は別途費用がかかります）

受講者数：24名予定

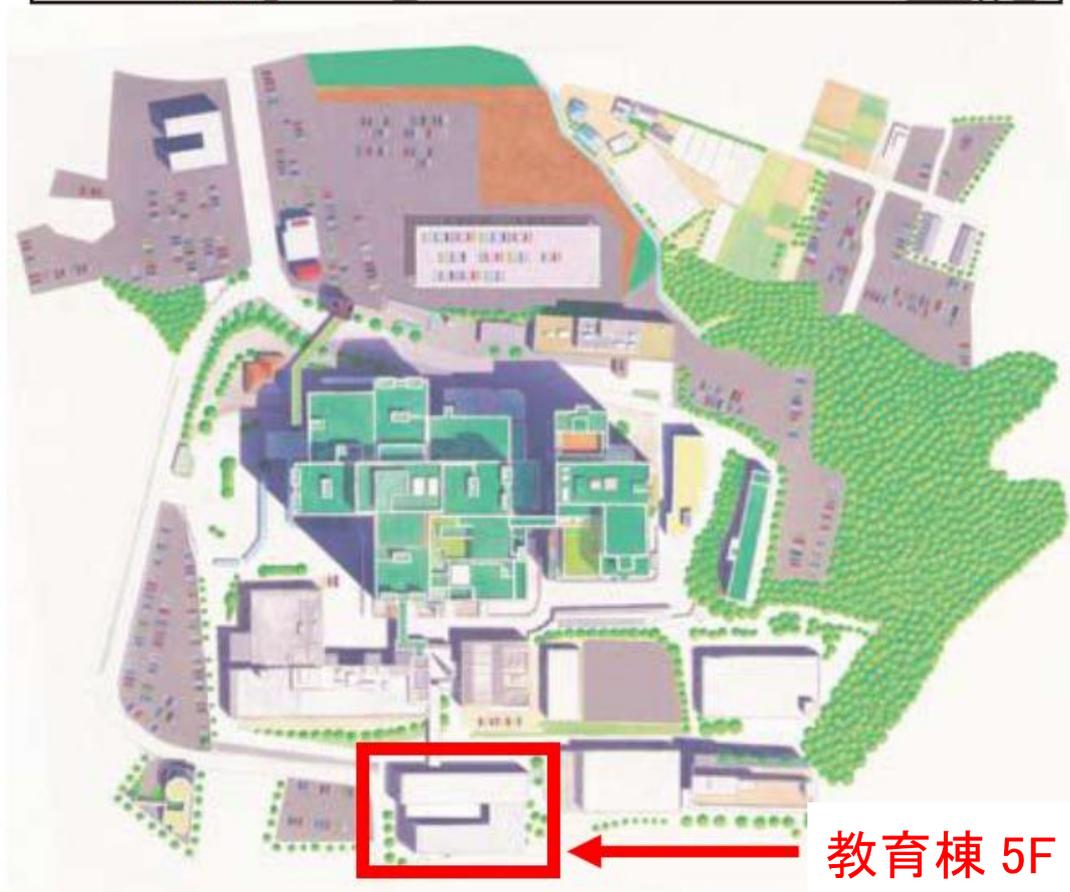
参加申し込み方法：以下のURLから参加申し込みをして下さい。

<http://my.formman.com/form/pc/tCcuJCDPTRwxJk9i/>

参加申込期限：平成22年12月23日

※申込者多数の場合、今後の活動も踏まえ選定させていただきます。御了承下さい。

## 会場案内図



※駐車場がありませんので、お車はご遠慮ください。

**ALSO-JAPAN 2011 at St. Marianna Univ. Sho. Of Med. COURSE SCHEDULE**

2月26日(土)	2月27日(日)
8:30 AM - 9:00 AM 受付	
9:00 AM - 9:30 AM F: Labor Dystocia 難産	9:00AM - 9:30 AM C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血
9:40 AM - 10:10 AM G: Malpresentations 胎位・胎向異常 (全員講義終了後WS)	9:40 AM - 10:50 AM K: Maternal Resuscitation 妊婦の蘇生 (全員講義終了後WS)
10:10 AM - 11:20 AM H: Assisted Vaginal Delivery 吸引／鉗子分娩(全員講義終了後WS)	11:00 AM - 11:50 AM N: 会陰縫合
11:30 AM - 12:30AM E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例	12:00 AM - 1:00 PM B: Medical Complications & OB Cases 内科的合併症と症例
12:30PM - 1:30PM Lunch (ランチョン) O: 分娩時の診断的超音波検査 (希望者のみ)	1:00 PM - 2:00 PM Lunch / L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性 試験準備
1:30 PM - 2:30 PM I: Shoulder Dystocia 肩甲難産 (全員講義終了後WS)	2:00 PM - 4:00 PM Megadelivery & Written Examination
2:40 PM - 3:10 PM A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症	
3:20-4:40PM J: Post Partum Hemorrhage 産後大出血 (全員講義終了後WS)	
4:50-5:20PM D: Preterm Labor and PROM 早産と前期破水	